

第3回

多摩市道6-10号歩線 (鶴牧東公園沿い遊歩道)

意見交換会の実施結果

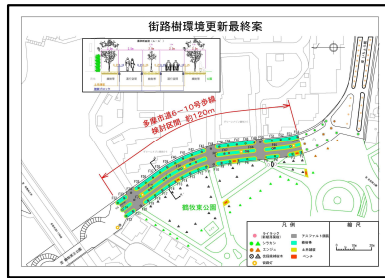
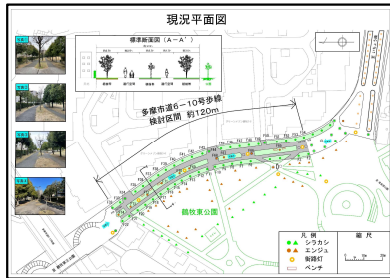
1. 開催概要

街路樹環境更新の手法について、これまでの意見交換会、パブリックコメントの結果を踏まえ作成した街路樹環境更新最終案を提示し、皆さんと意見交換を行いました。

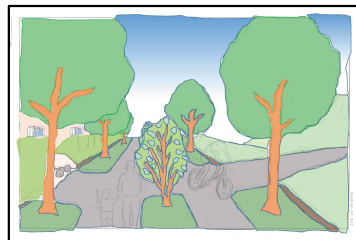
- ・日時 令和5年10月28日(土) 14時00分~16時00分
- ・会場 からきだ菖蒲館
- ・参加者数 5名(ワークショップ形式)

2. 街路樹環境更新最終案について

これまでの意見交換会、パブリックコメントを踏まえた主な内容



最終案イメージ図



- ・中央の植樹帯は残し、2列の通行空間はそれぞれ幅員を2.5mに
- ・植樹帯の端部に土系舗装(雑草対策)
- ・滞留スペースの確保
- ・中央のエンジュは伐採
- ・中央にライラックを新植
- ・両脇のシラカシは1本おきに間伐

3. 意見交換の主な内容

街路樹環境更新最終案について

ワークショップの状況



安心・快適なみちづくりについて

- ・通行空間が1.5m→2.5mと広がって良かった
- ・交通量的に現況が危険であるとは感じがない
- ・植樹帯の地被に芝生があると良い
- ・昼間も見通しの良い道にしてほしい
- ・夜道も1人で歩けるよう明るい治安の良い通りにしてほしい
- ・遊び心のある工夫を凝らした道にしてほしい
- ・ベンチの下が土系舗装なのは雑草に影響されないのが良いと思う
- ・土系舗装はエコであるが、世界の潮流は草木(グラス)の活用ではないか
- ・雑草が伸びないように手入れしてほしい
- ・歩行者自転車共存というが、歩行者の方が優先ではないか

持続可能なみどりの形成について

- ・マンションの出入り口などもあるためシラカシ間伐は良い
- ・樹間は少し広くして1本の木が育つようにしてほしい
- ・ヒートアイランドを防ぐためにも1本の木の広がり育ててほしい
- ・シラカシとライラックは互い違いに植えてもいいと思った
- ・これから10年後、ライラックは生育する持続可能な樹種なのか
- ・生活道路であるこの道に目玉となる樹種が必要か
- ・多摩らしい風景となるような樹種が良いのではないか
- ・四季を楽しめるように多様な種類を植樹するのはどうか
- ・いろいろな木を知り、楽しめるようにしたい
- ・害虫やアレルギーの少ない木が良い
- ・木が育つことを想定し、新植する際は本数を考えてほしい
- ・落ち葉や花びらの清掃は大変だと思う
- ・温暖化がまったなしに進む時代、大きな緑陰が求められる